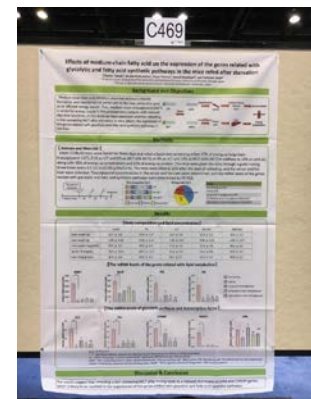


Experimental Biology 2017にてポスター発表

Experimental Biology 2017 が 4 月 22-26 日、米国シカゴで開催されました。本学会は、栄養学、生理学、薬理学や生化学など、様々な分野の研究が報告され、ライフサイエンスに影響を及ぼす最新の研究に関心を持つ多くの研究者が参加していました。

私は、「Effects of medium chain fatty acid on the expression of the genes related with glycolytic and fatty acid synthetic pathways in the mice refed after starvation (絶食-再摂食時のマウスにおける解糖系および脂肪酸合成系の遺伝子発現に及ぼす中鎖脂肪酸の影響)」という題目で、絶食後の再摂食に脂質の素材として中鎖脂肪酸を用いた場合には、肝臓における糖質からの脂肪酸合成が抑制されるという内容をポスターで発表し、多くの方に関心を持っていただきました。

本学会では、栄養素の摂取や疾病による遺伝子発現のエピジェネティクスな変化から臨床栄養学まで幅広い分野の研究が報告されており、様々な視点からの知識を深めるだけでなく、新たな視点で食事の重要性を考えるきっかけとなりました。今回の経験を、今後の研究活動だけでなく、管理栄養士として食の重要性を考える上でも活かしていきたいと思います。



薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻 栄養生理学研究室
博士前期課程 2 年 高見紗依子